図書館だより 第4号　R3. 9月　川俣高校図書館

こんにちは！図書室です。夏休みも終わり、あっという間に秋分を迎えますね。
秋といえばもちろん読書の秋。みなさんはどんな本を読みますか？本は私たちに生きるためのヒントを与えてくれます。ぜひ、様々な本に触れ合って自分の世界を広げてみてください。「読みたい本が無い！」という方は、人生の先輩がおすすめする本を読んでみてはいかがでしょうか？

○1学年担任・国語科　門馬先生のおすすめは・・・

彩瀬まる「暗い夜、星を数えて」

＜門馬先生からひと言＞

著者は千葉県の方ですが、たまたま一人旅の途中、新地町の新地駅で、３．１１のあの時を迎えました。津波でもろとも大破した、あの列車に乗っていたのです。迫りくる津波から命からがら逃げた様子、その後の原発事故でさらなる避難を余儀なくされた様子が、「旅人」目線で描かれています。筆者が何を見て、どこをどのように逃げたのか、私の地元だけに、その道すじまで鮮明に思い描くことができます。

タイトルは、一見素敵ですが、これは本当にリアルな震災後の様子を表しているのです。

○普通科2学年担任・数学科　五十嵐先生のおすすめは・・・

図書館にて
貸出可能です！

アンデシュ・ハンセン「スマホ脳」

＜五十嵐先生からひと言＞

現代人は平均1500回/日スマホに触り、若者のスクリーンタイムは7時間にも及ぶ。スマホを机に置くだけで、テストの点数が悪化し、人との会話もつまらなくなる。

最新の脳科学でわかった「スマホにハマる理由」を分かりやすく解説してくれています。

○普通科3学年担任・理科　門馬先生のおすすめは・・・

岩田健太郎「絵でわかる感染症　with もやしもん」

＜門馬先生からひと言＞

2015 年に出た本ですが、医学的に見た感染症についての説明が分かりやすくのっています。また挿し絵も、もやしもんという細菌マンガの作者が書いているので、絵だけでも面白いです。コロナが蔓延している今、興味がある人はぜひ読んでください。

○機械科3学年担任・数学科　髙橋先生のおすすめは・・・

図書館にて
貸出可能です！

朝井リョウ「桐島、部活やめるってよ」

＜高橋先生からひと言＞

田舎の県立高校が舞台。バレー部キャプテンの桐島が、理由も告げずに突然部活をやめた。そこから周囲の高校生たちの学校生活に波紋が広がり、部活も校内での立場も全く違う5人の生徒それぞれに変化が起こる。その人間模様から何かを感じとって欲しい。

新着図書を紹介します。

書名	請求記号	書名	請求記号
心とカラダの倫理学	１５１S	自分をたいせつにする本	１５９H
名言のクスリ箱	１５９０	アジア 29 か国のいまがわかる本	３０２A
好かれる人は雑談がうまい	３６１N	リスク心理学	３６１N
アプリケーションエンジニアになるには	３６６N	どうしても頑張れない人たち	３６８M
つながり続けるこども食堂	３６９Y	古代文明と星空の謎	４４０W
壊れた脳と生きる	４９３S	アンガーマネジメントを始めよう	４９８A
生きのびるための流域思考	５１７K	食べものから学ぶ世界史	６１１H
葬送のフリーレン VOL.1～4	７２６A	声がだせない少女は「彼女が優しすぎる」と思っている　4	７２６Y
論理パズル 100	７９８０	国語をめぐる冒険	８１０W
読めそうでギリギリ読めない漢字	８１１Y	余命一年の君が僕に残してくれたもの	９１３H
魔法使いのハーブティー	９１３A	秘密の花園でお茶を	９１３A
夜行秘密	９１３K	彼岸花が咲く島（第 165 回芥川賞!!）	９１３L
未来	９１３M	君が花火に変わるまで	９１３N
Re:ゼロから始める異世界生活 27	９１３N27	僕らの奇跡が、君の心に届くまで。	９１３０
砂時計のくれた恋する時間	９１３S	星落ちて、なお（第 165 回直木賞!!）	９１３S
琥珀の夏	９１３T	僕がきみと出会って恋をする確率	９１３Y
貝に続く場所にて	９１３I（第 165 回芥川賞!!）		

図書館からのお知らせ

選書実習を実施中です！

　図書委員が川俣高校の皆さんにお勧めする本を選びました。書店の方も驚いたユニークなラインナップとなっています。9 月中に展示を行う予定なので、ぜひ見に来てください。

図書返却のお願い

　夏休みの長期貸出図書の返却期限が過ぎています。うっかり「忘れていた…！」という方は早めの返却をお願いします。

それ以前に借りたままの図書についても、併せて返却をお願いします。